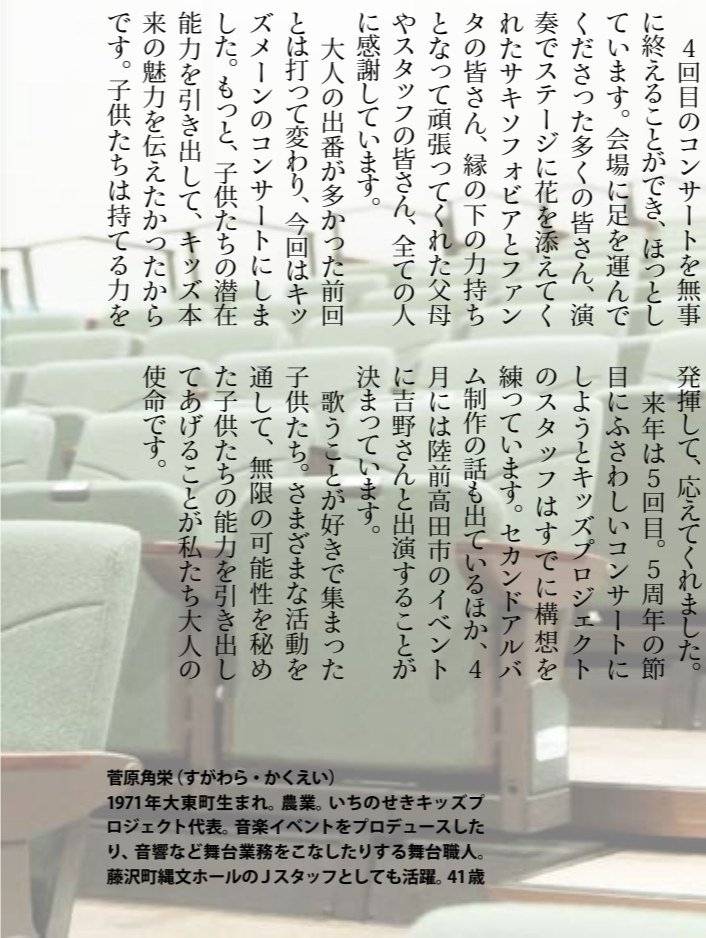




Sugawara Kakuei

無限の可能性を秘めた
子供たちの能力を
引き出してあげることが
私たち大人の使命



菅原角栄(すがわら・かくえい)
1971年大東町生まれ。農業。いちのせきキッズプロジェクト代表。音楽イベントをプロデュースしたり、音響など舞台業務をこなしたりする舞台職人。藤沢町縄文ホールJスタッフとしても活躍。41歳

大地讃頌

みんなが一つになって生み出した地域の「和」は
やがて音楽の「輪」となり、大きく広がった
紡がれた絆は人を育て、無二の感動を生み出していく

サ

キッズの初共演「第1回ファンタジックコンサート」は09年2月、曾慶地区センターで行われた。「ファンタジック」(Fantastic)はファンタスティック(Fantastic)とミュージック(Music)を掛け合わせた和製英語。「音楽を通して、夢と感動の舞台を創りたい」という願いが込められている。

子供たちとプロミュージシャンとのコラボレーションは同センターに詰めかけ

被災地の友達に見てほしい

子供たちの提案だった。被災地を気遣うやさしさ、友達への思いやりなど、子供たちの成長が見て取れる提案に、大人たちは二度返事で了解した。

石巻市から訪れた佐藤かおりさんは「お世辞抜きにすてきなコンサートで感動した。キッズの歌声にパワーをもらった」とにつこ



古里の大きいなる大地で、夢に挑み、未来を開く

私たちの歌を聴くことで
被災地の人たちが元気になってくれたら
そう思ってた歌いました



Suzuki Chika

鈴木千佳(すずき・ちか) 曾慶小6年
3年生からキッズに所属。結成当初リーダーとして活躍

いいコンサートになったと思います。たくさんのお客さんを前に、緊張した仲間もいると思うけど、みんな笑顔で楽しみながら演じることができました。客席の皆さんがコンサートを楽しんでくれていることが舞台にも伝わってきて、とてもうれしかったです。震災で大変な1年だったけど、私たちの歌を聴くことで、「被災地の人たちが少しでも笑顔になったり、元気になったりしてくれたら」と願って、最後まで頑張りました。4月から中学生です。部活で忙しくなるのでステージには立たないと思いますが、歌や踊りを教えたり、サポートしたりすることで、キッズに関わっていきたいです。



菅原涼葉

藤原梨瑚

岩瀬菜摘

佐藤来夢

佐藤美吹

藤原瑚都

及川陽菜乃

岩瀬莉世

熊谷ほのか

岩瀬晟也

青柳千羽

岩瀬愛実

菅原彩華

岩瀬倅大

畠山彩心

佐藤貴咲

千葉菜依

及川星空

岩瀬莉央

畠山心遥

佐藤未知花

千葉拓夢

た250人を魅了。大盛況だった。

コンサート後、サキソフォビアから「もつと子供たちと関わりたい。ぜひ音源を残したい」とCD制作が提案される。こうして10年1月、千厩町奥玉の「角蔵ホール」でレコーディングが実現。「世界中の子どもたちが「サキソフォビア&ドリームキッズ」名義で全国に販売された。

角蔵ホールをスタジオに提供した及川一郎さんは「23人のキッズと4人のサキソフォビアをマイク10本で一発録りした。生録りの空気がリアルに伝わるすてきな作品になった」と振り返る。

菅原角栄代表は「多方面から好評で、セカンドアルバム制作の話も出ている」と次のステージに目を向ける。

今年コンサートには、陸前高田市立矢作小学校と石巻市の「桂心館道場」に通う児童と父母ら約40人を招待した。

ドリームキッズは震災後、陸前高田市、釜石市、宮城県石巻市を訪問し、復興を願って歌を届けた。「私たちのコンサートを

り。元気いっぱいステージから復興の力をもたらすようだ。

子供たちが通う曾慶小学校の金野健校長は「子供たちはみんな前向きで一生懸命。保護者や地域の皆さんは、子供たちの気持ちを大事にしてキッズの活動を応援している。曾慶は子供を中心に地域全体が一つにまとまっている理想の地域」と胸を張る。

ドリームキッズは、親子をつなぐ縦軸と音楽で結ばれた横軸とがリンクして地域の一体感を醸成。誰もが参加できる音楽、誰もが楽しめる舞台を創ってきた。保育園、学校、家庭、地域が一つになって生み出した曾慶の「和」は、やがて音楽の「輪」となって大きく広がり、アマとプロ、子供と大人、農村と都市、内陸と三陸など、次々と新しい交流を創り出した。

聴く人に勇気と元気を与えるまっすぐな歌声は、地域の「宝」。子供たちの夢は、大人たちの夢であり、地域の夢でもある。

唯一の夢——。曾慶で紡がれた絆は、人を育て、無二の感動を生み出していく。